

2022年12月9日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
児童養護施設 中心子どもの家
所長 丹 清

中心子どもの家の
新型コロナウイルス感染者(職員、元実習生)について
(18の④)

既報(18及び18の②、18の③)の続報をお知らせします。これまでの経緯は既報(18及び18の②、18の③)をご参照ください。

昨8日(木)の夜に検体を採取し、検査機関へ送付した検体の検査結果が本9日(金)午後に到着し、新たに職員1名の陽性が判明しました。当該職員は、既報(18の②及び18の③)と関連がある施設内での伝播と推定されます。

その他の児童25名、職員12名、実習生1名、合わせて38名は陰性が判明しました。しかし、12月6日(火)に実習を終了した元実習生1名が、本9日(金)の朝に発熱し、医療機関で受けた抗原定性検査で陽性が判明したとの連絡が大学からありました。

以上のことから、中心子どもの家にある四つの生活区域のうち、昨8日(木)に安全確認を完了した一つの生活区域(既報18の③参照)を除く三つの生活区域については、なお、ウイルスが潜伏している可能性を懸念し、これまでに感染が確認された児童、職員を除いて、あらためて検体を採取してPCR検査を行ないます。結果が分かり次第、あらためてご報告します。

皆様には度々ご心配をおかけして申し訳なく存じますが、中心子どもの家では所轄の保健所に報告し、助言を頂きながら感染拡大防止に全力で取り組んでいます。今後も感染防止に最善を尽くしますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。